

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2022. 5. 15.
復活節 第5主日

黙 想 (黙 禱)

招 詞 主をたたえよ 日々、わたしたちを担い、救われる神を。
この神はわたしたちの神、救いの御業の神
主、死から解き放つ神。 (『讃美歌 21』93-1-44)

讃美歌 436 (十字架の血に)

主の祈り

讃 詠 26 (グロリア、グロリア、グロリア)

聖 書 マタイによる福音書 14章13節～21節
(新約 28頁)

信仰告白 使 徒 信 条

メッセージ 「すべての人が食べて満腹した」 多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 481 (救いの主イエスの)

頌 栄 24 (たたえよ、主の民)

黙 想 (黙 禱)

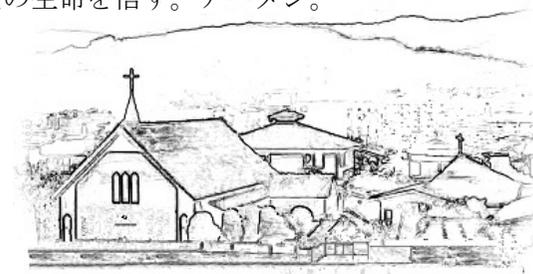
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。
◎ 会堂での礼拝では讃美歌を短縮して賛美します。

【主の祈り】 (『讃美歌 21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌 21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧 師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



◆五千人に食べ物を与える

- 13 イエスはこれを聞くと、舟に乗ってそこを去り、ひとり人里離れた所に退かれた。しかし、群衆はそのことを聞き、方々の町から歩いて後を追った。
- 14 イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て深く憐れみ、その中の病人をいやされた。
- 15 夕暮れになったので、弟子たちがイエスのそばに来て言った。「ここは人里離れた所で、もう時間もたちました。群衆を解散させてください。そうすれば、自分で村へ食べ物を買に行くでしょう。」
- 16 イエスは言われた。「行かせることはない。あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい。」
- 17 弟子たちは言った。「ここにはパン五つと魚二匹しかありません。」
- 18 イエスは、「それをここに持って来なさい」と言い、
- 19 群衆には草の上に座るようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。
- 20 すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二の籠いっぱいになった。
- 21 食べた人は、女と子供を別にして、男が五千人ほどであった。

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』